

第 6 回 練馬区農業振興計画策定懇談会議事要旨

日時：平成 22 年 8 月 10 日（火） 18 時 00 分～20 時 00 分

場所：練馬区役所庁議室

参加委員：9 人出席（委員数 9 人）

資料：会議次第

資料 「練馬区農業振興計画策定懇談会提言書（案）」

内容：1. 議事

(1) 提言書（素案）の検討について

2. その他

(1) 第 4 回懇談会議事要旨について

3. 閉会

(1) 座長より挨拶

(2) 事務局より挨拶

1. 議事

(1) 提言書（素案）の検討について

資料「練馬区農業振興計画策定懇談会提言書（案）」について事務局より説明。

「1 提言にあたって」について

- 1 ページの下から 9 行目に、「豊かな農の区内外への発信」とあり、2 ページには「練馬区の豊かな『農』の区内外へ発信する」とある。「豊かな農の」なのか、あるいは「豊かな農を」の方が良いのか。表現に違和感がある。（副座長）
- 1 ページの「豊かな農の区内外への発信」というのは、豊かな農とは一体何なのかが分からない。2 ページの「練馬区の豊かな農の」は、「農を」の方が良いと思う。2 ページの農にはかぎっこが付いていて、1 ページの農にはついていないので、分かりやすい表現に改めたいと思う。（事務局）
- 「区、農業協同組合、農業生産者等」という記述があるが、区民もここに列挙すべきだと思う。また、平成 22 年 3 月の食料・農業・農村基本計画の見直しについて言及しているが、その中では、都市農地の保全や都市農業の振興に関する制度の見直しにもかなり焦点を当てているので、本文でも、「その姿勢を強め、」と「都市農業振興のための取り組みを推進する」の間に、「これまでの都市農地の保全や都市農業の振興に関する制度の見直しの検討を含め、」という記述を入れた方が良いのではないかと思う。さらに、下から 2 行目の「可能な限り」については、当然のことなのでなくても良いと思う。（座長）

- ご指摘いただいた3点について、ご趣旨に沿って修正したい。(事務局)
- 特徴4に「条例の制定」とあり、これは21ページで触れられている「条例制度」とも関わっているが、条例をつくる意義は、都市農業や農地の保全の重要性をきちんと認識することにあると思う。その上で、農業生産者・農業組合・区民・区が一体となった「農」への取組みがあるので、まず都市の農業や農地を保全すべきものとして位置づけるといふ記述を、2ページと21ページに加えて欲しい。例えば、「この内容を踏まえ、今後は都市農業、農地の重要性を位置づけ、…」あるいは「重要性を認識し、…」といった内容を入れていただければと思う。(座長)
- 「都市農業、農地の重要性を位置づけ」あるいは「認識し」というのは、全体の趣旨に反することではないので、例えば「今後は都市農業、農地の重要性を位置づけ、かつ一体となって農業の取組みを促進するための条例の制定」といった内容にしたいと思う。(事務局)

「2 練馬の農業の現状と課題」について

- 4ページの環境保全型農業について、「リサイクル堆肥『練馬の大地』」となっているが、練馬の大地をリサイクル堆肥と位置づけて良いかは疑問である。8ページ、17ページにも「リサイクル堆肥」という記述があり、23ページには「フードリサイクル堆肥」という記述もある。「練馬の大地」はフードリサイクル堆肥であり、落ち葉を利用した堆肥リサイクル堆肥とは区別して欲しい。また、「練馬の大地」だけに取組んでいけば、環境保全型農業ができるというような誤解を招きかねないので、誤解を招かないような表現方法を検討して欲しい。(副座長)
- 4ページについては、区としてこれまで、学校給食リサイクル堆肥という位置づけで「練馬の大地」に取組んできたので、「学校給食」という言葉を付け加え、8ページについては、学校給食リサイクル堆肥だけに限った内容ではないので、表現を検討したい。(事務局)
- 5ページの【都市農地】の課題の2行目に、「社会環境を整えることが重要であり、高齢者や後継者不足により担い手不足の農家に対する支援や、耕作できなくなった農地の有効活用に取り組むことが必要と言える。」とあるが、文章がおかしいのでこのままでは通じないと思う。「高齢化や後継者不足により担い手の不足する農家・・・」とするなど、表現を検討して欲しい。(座長)
- 3ページの【都市型農業経営】の課題について、「生産性・効率性の高い農業への転換」とあるが、具体的に後の施策の部分にそれに関する記述が見当たらない。(委員)

- 10ページの「生産性・収益性の高い農業経営」について書いている。には、「都市型経営農業経営支援」とあり、具体的な事業内容は示していないものの、これまでにブルーベリー観光農園の開園などを進めており、効率性・収益性の向上が図れる部分であると考えている。今挙げたような「効率性・収益性の高い農業経営」のいくつかの例を、10ページに加えるなど、工夫したい。(事務局)

「3 練馬の農業の将来像と基本的方向」について

- 7ページの「10年後の練馬の農業の姿」について、「『農の豊かさを実感できる都市』を実現する都市農業」というのは、「都市」という言葉が2回出てきたり、「実感」と「実現」という似た言葉が並んでいたりして、分かりにくい。(座長)

- 「都市農業」を「練馬農業」にしてはどうか。(委員)

- 2回出てくる「都市」のいずれかを「練馬」とすることも考えられる。(座長)

- 7ページの下の方に、「農がある暮らしの豊かさ」とあるので、「農のある豊かな暮らし・まちを支える都市農業」などの表現方法もあると思う。(座長)

- 10ページの「家族経営協定」について、31ページの用語解説の部分で「族経営協定」となっている。(委員)

「4 基本的方向に基づく展開」について

- 11ページの「(仮称)都市型認定農業者制度を創設する」とあるが、創設することが支援に直結することではないと思うので、制度を作ること、どのような支援が受けられるのかが示されていると良いと思う。(副座長)

- 具体的な支援の内容は、今後の計画で定めることなので書くことはできないが、「(仮称)都市型認定農業者制度」の目的が、営農を継続するための枠組みを整備し、支援を行うことである、といった内容を、短い表現で加えると良いかと思う。(事務局)

- 12ページの視点1で、「農家の営農形態と担い手・支え手と意欲ある区民の意向にあわせて」とあるが、文章の意味が分からないので、整理して欲しい。(座長)

- 15ページの視点3に、「食農教育」とあるが、JAでは「食農教育」と「食育」という言葉を使い分けているので、それぞれの言葉の解説を用語集に加えて欲しい。JAで整理した定義があるので、それを参考にしたい。(副座長)

- 14ページに、「配送システムの取組みの一つとして、農作業ヘルパーなどサポート体制・・・」とあるが、そういった農業関係の様々な取組みを支援するための仕組みや

組織が必要になると思う。(座長)

- ヘルパーに限定するのは、難しいと思う。(副座長)
- 確かにヘルパーに限定しない方が良いと思うが、仕組みはつくる必要があると思う。NPOや農業協同組合でも良い。いずれにせよ、市場出荷の方の配送に対する支援は必要だと思う。(委員)
- ヘルパーに限定せず、「配送システムのサポート体制の充実」などの表現にしたい。(事務局)
- 17ページの「都市から排出される資源を、資源として」というのは、言葉が重複するので、「廃棄物を資源として・・・」とするなど、表現を改めた方が良い。(座長)
- 16ページの「堆肥による土作りを基本とした農薬や・・・」は、「堆肥や土作りを基本とした」が「農薬」にかかっているように捉えられるので、「基本とし、」で区切った方が良いのではないかと。(委員)
- 19ページに「農家間の農地の貸し借りを推進し、」とあるが、現在は制度上の問題があって貸し借りが難しくなっている。その中で貸し借りを促進するということは、今後、貸し借りができるような制度に変えていくということも視野に入れているということなのか。(委員)
- 貸し借りを難しくしている要因として、制度上の問題があるので、「農家間での貸し借りを可能にするような制度を整えて、農地の有効活用を促進していく」などの表現を加えて欲しい。(座長)
- 20ページの視点4の「区独自の取組み」とあるが、具体的な内容はこれから考えるのか。少しでも内容が分かるような表現があれば良いと思う。(座長)
- 内容にかなりの幅があるので、現段階では「区独自の取組み」としか書くことができない。ただし、国の制度が変わらないと区で何もできないということではないので、区内部では、区独自の制度づくりも含めて、できることに取組んでいこうという動きになっている。(事務局)
- 23ページに「練馬の農の文化を伝承する」とあるが、具体的にはどのようなものか。(副座長)
- 地元にある神社の祭り、五穀豊穡をうたった祭り、歳時記にある季節ごとの色々な食

べ物、言葉などがたくさんあると思う。農家の方も忘れていたようなことを掘り起こして、伝えることも大切だと思う。(委員)

「5 各主体に期待される役割」について

- 24 ページの各文章の末尾の「こと」は、義務的な表現になってしまうので、外した方が良い。(座長)
- 区の役割について、区は教育や防災など他の分野との連携を図ることが必要だと思うが、それは2つめ、3つめの役割に含まれているのか。(委員)
- 各分野との連携は当然のことという前提で書いていなかったが、より意識的に連携を図るという意味で、新たに項目立てをして、そのような表現を加えたい。(事務局)
- 最後の項目の前、役割の3つめに加えるのが良い。(座長)
- 24 ページの表では、「区民・消費者」、「農業生産者」、「農業協同組合」、「区」の順序になっているが、文章中の順序と統一されていない。(委員)
- これまで「区」が一番になっていたが、どのような順序にするのが良いか。区の計画では「区民」を一番上にするのが一般的だが、懇談会の提言書の場合には、「区民」が一番上で良いかどうかは疑問である。(事務局)
- 「農業生産者」を一番上にするのが良いのではないか。(座長)
- 役割については、「農業生産者」、「農業協同組合」、「区民・消費者」、「区」の順になるよう、表を修正したい。1 ページについても同様の問題があるが、こちらは「区」、「農業協同組合」、「農業生産者」、「区民・消費者」の順としたい。(事務局)

「6 懇談会での主な意見」について

- 「練馬の農業の将来像と基本的方向について」の2つ目に、「他の自治体にはない積極的な姿勢なので・・・」とある。確かにその通りだが、他の自治体の方がこれを見た時に、あまり良い印象を受けないのではないか。(委員)
- 「区外の人にも念頭においた視点で・・・」というのは、なぜそう考えたかも加えた方が良いと思う。例えば、「練馬区の農の先進性や、23 区における農地分布の割合の高さを考えて・・・」などの説明文があれば良いと思う。(座長)
- 26 ページの中間あたりに、屋敷林の共同管理について書かれている。確かに「国分寺の花街道の事例もあるので」ということも発言したが、国分寺の花街道は屋敷林の共

同管理ではなく、畑の周りの美化に取り組んでいる例として挙げた。2つの話が一まとめになっている。(委員)

- 屋敷林の共同管理に重点を置いた発言であったと記憶している。固定資産税などの問題がある中で、屋敷林などを必要なものとしてきちんと位置づけるために、共同で管理することなども必要ではないかという話の中での発言であったと思う。(座長)
- 第3回の懇談会で、国分寺の花街道の件と、屋敷林の共同管理のそれぞれについて、ご意見をいただいている。(事務局)

その他

- 今後、農業関係の様々な支援をしていく場合に、それを一元的にサポートするような組織をつくることも必要になると思う。そこから雇用が生まれればなお良い。そういったしくみや組織を念頭においた項目を、「基本的方向に基づく展開」の中に入れて欲しい。それぞれがばらばらに取組みを進めるのではなく、様々な仕事を一元的に扱うようになれば、専任の職員も置けるようになると思う。(座長)
- 文章をいただければ検討したい。ただし、様々な仕事をどこかで一元的に調整するのはなかなか難しく、「連携」が現実的ではないかと思う。懇談会として、農業にとってそういった組織が必要ということであれば、課題として内部で議論はしていきたいと思う。(事務局)
- 例えば、ボランティアはどこが取りまとめていくのか、地場流通へのサポートはどこがするのか、など様々な問題がある。直売所の運営も、もっと専門的に考えて、専任の人を配置するようなことがあるかもしれない。NPO、農協でも良いが、将来的には、このような農業以外の様々な仕事を取りまとめるような組織が必要だと思う。(座長)
- 多様な担い手を吸収し、どこかでそれを調整するには、区、農協といった枠にとらわれず、自由に様々なものを吸収できる組織が必要だと思う。(副座長)

今後の予定について

- 本日のご意見をもとに、座長、副座長と協議の上で提言書を作成する。今月中に区長に提出し、今月末には区議会の常任委員会へ報告する予定である。その後、9月から10月にかけて、区の庁内組織で、懇談会の提言書をもとに計画の素案を作成する。11月から12月にかけて、農業委員会、常任委員会に素案の報告をした後、3週間ほどかけてパブリックコメントを行い、区民、農業関係の方からのご意見をうかがう。12月末までには計画案を決定し、年度末には最終的な計画を公開する予定である。(事務局)

- 都市型の認定農業者制度などの具体化は、来年度になるのか。(座長)
- 計画に基づいて来年度の予算を立てるので、実際のサービスの提供は来年度になる。4月からすぐに始めるのは難しいかもしれないが、一定の準備期間も含めて、来年度中からできることは始める。(事務局)

2. その他

(1) 第4回懇談会議事要旨について

- 第4回懇談会議事要旨に関して、訂正の指摘がなかったため、これを議事要旨とする。(座長)
- 第5回、第6回の懇談会議事要旨については、事務局でまとめる。(事務局)

3. 閉会

座長から挨拶

限られた時間の中で、十分皆さんの意見をくみ上げることができなかったことは、申し訳なく思っている。練馬区の農業は先進的な位置にあり、この提言書がそれにふさわしいあり方を提示するものかは問題があるが、区で今後計画を検討される際には、練馬区らしい、あるいは「さすが練馬区である」と思われるようなものを作って欲しい。都市農業は区だけ、農業者だけでやるものではない。参加された委員の方は、それぞれの部署でそれを実現するために努力していただきたい。

事務局から挨拶

6回にわたり、熱心なご議論をいただき、有難く思う。本日いただいたご指摘をもとに内容を修正し、座長、副座長に確認の上、今月中には提言書としてまとめ、区長に報告したい。都市農業・農地をめぐる状況が大きく変わる中で、計画の改定にあたることになったのだが、我々も6回の懇談会を通して多くのことを勉強させていただいた。懇談会の中では、農の多面的機能や、都市農業のあり方について、ご検討・ご提言いただいたと思う。ご提言内容を今後の計画に活かし、「さすが練馬区である」と思われ、「農の豊かさを実感できるまち」を実現する一助になるような計画にしたい。委員の皆様は、今後も練馬の農業の振興においてお世話になる方ばかりなので、引き続きお力添えをいただくことをお願い申し上げ、閉会にあたっての御礼のご挨拶としたい。